新規事業採択時評価結果(平成16年度新規事業化箇所)

担 当 課:関東地方整備局都市整備課担当課長名:東 智徳

事業概要

事業の目的、必要性___

本区間は、交通ネットワークの集中する地点であるため交通渋滞が発生している。また、工業地域であるため、大型車の交通が多いが、歩道が一部未整備な区間があり危険な状態である。

本区間の整備は、交通を円滑化し、安全な歩行空間の確保に大きく寄与するものである。

全体事業費	1 2	7億円	計画交通量	,955台/日
費用便益	B/C \	総費用」	総便益_」	基準年 」
分析結果	2.8	2 4 億円	6 7 億円	平成 1 5 年
		事 業 費: 23.2億円	走行時間短縮便益: 64.9億円	
		││維持管理費: 0.6億円│	┃ 走行費用減少便益: 0.2億円┃	
			交通事故減少便益: 2.3億円人	

事業の効果等

広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する。

区画整理事業等の沿道まちづくりと連携あり(西袋上馬場土地区画整理区域に接続)。

DID区域内の都市計画道路網密度が向上。

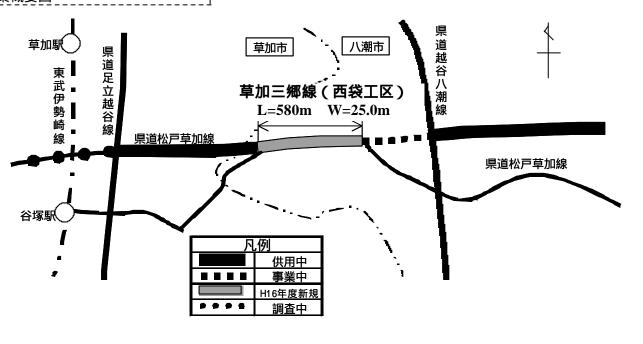
緊急輸送道路である。

他1項目に該当

関係する地方公共団体等の意見 ¦

交通ネットワークの集中点を改良することにより交通渋滞の解消が期待できることや、安全な歩行空間 が確保されることから、地元や八潮市から整備を要望されている。





総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。